

RC 財団・米山奨学委員会 轡田委員長卓話

ロータリー米山記念奨学事業の基礎知識

★ロータリー米山記念奨学大会について
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、日本のロータリーが共同で運営する奨学財団であり、財源は主に会員の寄付で成り立っています。日本独自の事業ですが、国際ロータリー(RI)からも国内全34地区の多地区合同活動として認められています。1967年に財団法人設立、2012年1月には公益財団法人に移行しました。

★外国人留学生を支援
事業開始から一貫して、日本の大学・大学院などで学ぶ外国人留学生を対象としています。2023学年度(4~3月)の全国の奨学生数は、外国人留学生を対象とした民間の奨学金では国内最大規模となる900人です。

★世界平和への思いから始まった国際奨学事業
これまでに累計で、世界131の国と地域からの留学生2万3059人を支援しています。

★奨学事業の始まりは1952年、東京ロータリークラブの当時の会長、古澤丈作氏によってつくられた、海外、特にアジア諸国から優秀な学生を日本へ招き、奨学支援する「米山基金」の構想にさかのぼります。

日本のロータリーの父と呼ばれ、若人たちの支援にも力を注いだ米山梅吉氏。この事業は、氏の生前の功績をたたえて名付けられました。

初めての奨学生をタイから迎えたのは2年後の1954年。それ以降は、海外からの招聘ではなく、在日留学生への支援の方針を変え、東京RCの単独事業から、全国の地区に拡大・発展しました。留学生数の増加に伴い、ロータリー所在国に限らず世界に門戸を開くなど、時

代の変化に柔軟に対応しながらも、「ロータリー」と外国人留学生との交流を通じて国際親善と世界の平和に寄与する」という事業の目的は、今日まで変わっていません。

★奨学生を育てる世話クラブ・カウンセラー制度
当事業特有の制度が「世話クラブ・カウンセラー制度」です。米山奨学生には地域のロータリークラブから「世話クラブ」が選ばれ、会員の1人が「カウンセラー」となって、日常の相談相手や交流の橋渡し役となります。奨学生は毎月1回以上、世話クラブの例会や奉仕活動に参加し、大学生活だけでは得られない出会いと交流を通じて、日本の心、ロータリーの精神を学びます。これはカウンセラーを務める会員にとっても、多様な文化や価値観への理解を広げる機会になっています。

★学友の集い、つくば市にて開催
米山奨学生は、奨学期間を終えると、米山学友となり、つくば市にて開催のRI理事会で「学友」の定義が拡大され、米山学友も正式に「ロータリー学友」として承認されています。

現在、日本国内に33、海外に10の米山学友の同窓会組織である「米山学友会」があり、学友同士の親睦にとどまらず、独自の奉仕活動を実施したり、日本と母国の奉仕プロジェクトの仲立ちをしたり、他の学友会と交流するなど、ロータリーの世界に根を張り、ネットワークを広げています。

その一環として、世界各地の米山学友が一堂に集う世界大会が今年8月に茨城県つくば市で開催されます。米山月間特集となる10月号で、「再会イン関東」の模様をお届けします。どうぞご期待ください。

■学部課程・修士課程・博士課程奨学金
大学・大学院生対象のプログラム
大学・大学院の正規留学生が対象で、採用者の9割以上を占めます。23学年度は学部440人、修士236人、博士167人が採用されました。各地区の米山記念奨学委員会が指定校を定め、推薦された学生を面接選考して合格者を決定します。奨学生が世話クラブに通える範囲内で、地区外の学校も指定できます。

■地区奨励奨学金
大学・大学院以外の教育機関を対象とするプログラム
地区の裁量によって、短大・高専・専修学校などを指定校にし、在籍する留学生を支援できる制度です。23学年度は7地区で22人が採用されました。学部相当の高専専攻科、専修学校高度専門士課程を除き、奨学金額が修士・博士課程の半額である代わりに、1人の枠につき2人を採用できま

■クラブ支援奨学金
現役奨学生のための期間延長プログラム
現役奨学生の世話クラブが、奨学期間を延長して支援したい場合に適用されるプログラムで、6カ月または1年の選択が可能です。延長期間の奨学金の半額を、世話クラブが負担します。博士号取得見込者の他、上級課程へ進学、または次の学年に進級する現役奨学生が対象です。

ただし採用月によっては、延長により地区の新規採用人数が減るため、採用を控える地区もあります。

■例会場 ラ・カンパーニュホテル深川
■事務局 〒074-0004 深川市4条9番40号
■URL H <http://mypage.fukanavi.com/rotary/>



深川RC 会長 飛騨野貴広 会長エレクト 伊東由紀夫 副会長 木村喜芳
幹事 平瀬文男 副幹事 宮澤孝司 会計 廣上晃士

例会運営委員会
委員長 森隆江
副委員長 富永隆夫
■例会日 毎週火曜日
■姉妹クラブ 南海RC(韓国)
■第2510地区第1グループ